

高校 農業科 学習指導案作成資料

(1) 日 時 令和7年9月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 1年A組 教室

(3) 学年・学級 第1学年A組(40名)

使用教科書(農業と環境)実教出版

(4) 単 元 名 ダイコン栽培と利用(農業と環境 実教出版)

(5) 指導する児童・生徒の状況

【既習事項】

- ・1学期当初の実習でトウモロコシの栽培を体験し、栽培の基本的な知識や技術は身につけている。

【単元のねらい】

- ・ダイコンの栽培をととして、農業や栽培の基礎について幅広く学習する。
- ・作物の生育段階に応じた栽培管理作業の手順や内容を理解し、基本的な栽培技術を習得する。
- ・ダイコンの栽培を行う中でプロジェクト学習を取り入れ、自らが課題を設定し、実践・検証する。

【生徒の状況】

- ・非農家出身の生徒が多く、今までに農作業経験の少ない生徒がほとんどである。しかし、栽培に関して興味・関心が高く、農場での実習に期待している生徒が多い。
- ・自分の考えを表現することが苦手で寡黙な生徒が多い。発問に対する答えも一部の活発な生徒に偏っている。
- ・授業において、教員側の指示を十分理解できない状況がみられる生徒が数名いる。
- ・現在農場では、ハクサイやダイコン等の栽培を行っている。

(6) 指導計画(全 7 時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次 (1時間)	ダイコンとは ・ダイコン栽培の学習をととして、農業や作物栽培への興味・関心を高める。 ・ダイコンの一生、おもな性質と形態について学習する。	一斉・グループ	知識・技術 思考・判断・ 表現
第二次 (2時間)	課題設定と栽培計画 ・プロジェクト学習として、たねまきから収穫までを体験する中で検証できる課題をグループごとに設定し、栽培計画を作成する。 ・栽培時期や目的にあった品種の検討、選択する。 ・栽培密度、施肥料の違い等による収量や品質の変化等、グループごとにたてた仮説や栽培計画をそれぞれ発表する。	グループ	思考・判断・ 表現 主体的に学習 に取り組む態 度
第三次 (1時間)	栽培の実際Ⅰ ・圃場の準備とたねまきについて理解する。 ・耕うん、整地、うね立て、基肥の施用、たねまきの方法、たねまき後の管理までの栽培管理を理解する。(P196～P197)	一斉・グループ	知識・技術 思考・判断・ 表現
第四次 (1時間)	栽培の実際Ⅱ ・たねまき後の作業、病害虫防除、収穫調整までの栽培管理を理解する。 ・栽培期間中の管理作業(土寄せ、病害虫の管理、収穫と調製)について、その必要性や方法について理解し、実習等での実践的な学習につなげる。(P198)	一斉・グループ	知識・技術 思考・判断・ 表現
第五次 (1時間)	ダイコンの利用 ・ダイコンの加工や利用法について(たくあん漬け)	一斉	知識・技術 主体的に学習 に取り組む態 度

※ 教科独自に面接審査室に準備しているもの

特になし

高校 農業科 学習指導案作成資料

(1) 日 時 令和7年9月〇日 第〇校時(50分)

(2) 場 所 1年A組 教室

(3) 学年・学級 第1学年A組(40名)

使用教科書(農業と環境)実教出版

(4) 単 元 名 ダイコン栽培と利用(農業と環境 実教出版)

(5) 指導する児童・生徒の状況

【既習事項】

- ・1学期当初の実習でトウモロコシの栽培を体験し、栽培の基本的な知識や技術は身につけている。

【単元のねらい】

- ・ダイコンの栽培をととして、農業や栽培の基礎について幅広く学習する。
- ・作物の生育段階に応じた栽培管理作業の手順や内容を理解し、基本的な栽培技術を習得する。
- ・ダイコンの栽培を行う中でプロジェクト学習を取り入れ、自らが課題を設定し、実践・検証する。

【生徒の状況】

- ・非農家出身の生徒が多く、今までに農作業経験の少ない生徒がほとんどである。しかし、栽培に関して興味・関心が高く、農場での実習に期待している生徒が多い。
- ・自分の考えを表現することが苦手で寡黙な生徒が多い。発問に対する答えも一部の活発な生徒に偏っている。
- ・授業において、教員側の指示を十分理解できない状況がみられる生徒が数名いる。
- ・現在農場では、ハクサイやダイコン等の栽培を行っている。

(6) 指導計画(全 7 時間)

次(時数)	学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次 (1時間)	ダイコンとは ・ダイコン栽培の学習をととして、農業や作物栽培への興味・関心を高める。 ・ダイコンの一生、おもな性質と形態について学習する。	一斉・グループ	知識・技術 思考・判断・ 表現
第二次 (2時間)	課題設定と栽培計画 ・プロジェクト学習として、たねまきから収穫までを体験する中で検証できる課題をグループごとに設定し、栽培計画を作成する。 ・栽培時期や目的にあった品種の検討、選択する。 ・栽培密度、施肥料の違い等による収量や品質の変化等、グループごとにたてた仮説や栽培計画をそれぞれ発表する。	グループ	思考・判断・ 表現 主体的に学習 に取り組む態 度
第三次 (1時間)	栽培の実際Ⅰ ・圃場の準備とたねまきについて理解する。 ・耕うん、整地、うね立て、基肥の施用、たねまきの方法、たねまき後の管理までの栽培管理を理解する。(P196~197)	一斉・グループ	知識・技術 思考・判断・ 表現
第四次 (1時間)	栽培の実際Ⅱ ・たねまき後の作業、病虫害防除、収穫調整までの栽培管理を理解する。 ・栽培期間中の管理作業(土寄せ、病虫害の管理、収穫と調製)について、その必要性や方法について理解し、実習等での実践的な学習につなげる。(P198)	一斉・グループ	知識・技術 思考・判断・ 表現
第五次 (1時間)	ダイコンの利用 ・ダイコンの加工や利用法について(たくあん漬け)	一斉	知識・技術 主体的に学習に 取り組む態度

※ 教科独自に面接審査室に準備しているもの

特になし